

# Jカフェ

～～ JAUW ヒューマンリソース活用プログラム ～～

JAUWが誇る最大のタカラは、会員のもてるチカラです。  
 ここには、豊かな経験、広い知見、深い洞察があります。  
 一緒に、新しい世界を発見、創出、共有しませんか。

## 第7回 驚き、楽しさ満載の日本語教育 ～米コロラド州での教師経験を経て～

日本の言語教育は、大学入試共通テストへの英語民間試験の導入が紛糾のすえ見送られ、国際学習到達度調査における日本語の読解力の順位低下が問題視されるなど、混迷が続いているのは何故か？ 島国のため、外国の文化、言語に接する経験が限られていたため、外国語と母語を含めた言語に対して考える機会に恵まれなかったことも一因と言えるでしょう。では、アメリカにおける日本語教育のあり様はどうなのでしょう？コロラド州立大学で日本語プログラムを立ち上げ、30年の職務を全うし帰国された講師に様々な話題を提供していただき、言語教育の知見を広め深めたいと思います。

**日 時**：2020年2月19日（水）13:30～15:30 受付13:15～  
**場 所**：本部事務所 + Skype 中継  
**講 師**：中野眞佐子氏（東京支部会員）  
**募集人数**：会議室**先着**30名+Skype利用15アカウントまで  
**参加費**：1,000円（茶菓含む）／Skype参加はアカウント1つにつき1,000円  
**申 込**：Fax：03-3358-2889（本部事務所）／E-mail：j-cafe@jauw.org（Jカフェ専用）  
**Skype参加希望は、上記メールアドレスへ**  
**締 切**：2月14日（金）ごろまで

### 【中野眞佐子さんから：お話のポイント】



1988年より米国コロラド州立大学で30年間日本語教師として教鞭を執り、2019年夏に退職しました。同大学で初めて設立された日本語コースをゼロから立ち上げ試行錯誤の繰り返しの中で学んだ日本語を教える楽しさ、難しさ、有意義さなどについて、

- ① 文法訳読法からフォーカスオンフォームまで
- ② 言語と文化
- ③ 待遇表現(いわゆる敬語)は必要か
- ④ カタカナ語・漢字の難しさ
- ⑤ 学習意欲の向上

という点から話を進め、皆様とこれからの語学教育について考えていきたいと思っております。

### 【プロフィール】

実践女子大学英文学科卒、米国コロラド州立大学大学院修士課程修了、  
 元コロラド州立大学教養学部言語・文学・文化科日本語専任教師

- ★ 生涯学習委員会では、JAUWの人材を活かす活動を企画中。他薦・自薦大歓迎！
- ・「災害の記憶をつなぐ」シリーズ（予告）：ジェンダーの視点から、災害に関する経験や提言を収集
- ・Jカフェ：「あの人にあの話を聞きたい」（経験談、趣味の紹介、専門知識など）
- ★ 生涯学習委員会Jカフェ専用メールアドレス：j-cafe@jauw.org



# J カフェ通信 7号

～ JAUW ヒューマンリソース活用プログラム ～  
大学女性協会 生涯学習委員会 2020.3.9 発行

## 第7回 驚き、楽しさ満載の日本語教育 ～米コロラド州での教師経験を経て～

講師：中野眞佐子（東京支部会員）

日時・場所：2020年2月19日（水）13:30～15:30 本部事務所 会議室

参加人数：17名（会議室）+Skype（長崎支部）4名

### 驚き、楽しさ満載の日本語教育 ～米コロラド州での教師経験を経て～

中野 眞佐子



2019年度第7回Jカフェは、新型コロナウイルス感染拡大の脅威にもめげず、たくさんの方がご参加くださいました。

始めに簡単に私の経歴を述べたいと思います。私は、普通のサラリーマン家庭に生まれ、普通の区立小学校に行き、中高大と私立の女子校に進みました。卒業後商社に勤めた後一年ほどイギリスに留学しました。帰国後アパレル業界で勤務しがてら英会話講師などをしていましたが、1985年にコロラド州に行き、コロラド州立大学でTESL (Teaching English as a Second Language)の修士号を取りました。1988年に同大学にて日本語教師として採用され、まだ、ワープロの時代にプログラムを立ち上げました。昨年夏に退職するまで30年あまり同大学で教鞭を執っておりました。

コロラド州立大学は米国コロラド州の州都デンバーから北に約100キロのところにあるフォートコリンズ市に位置します。州立大学ですので、コロラドの州民は授業料が州外や留学生に比べると5分の2と割安になっています。現在は約3万人強の学生が在籍しています。

さて、日本語に興味を持って実際に授業を取る学生は、というと秋の新学期では150人程です。3万人に比べると大変に少ないですが、外国語が必修になっていない理工系の研究高等教育機関としては、この数はいい方です。特にアメリカの教育全体の傾向としてSTEM (Science, Technology, Engineering and Mathematics)が強調されているのみならず、外国語教育がどんどん縮小されています。Modern Language Associationが発表した2013年から2016年の外国語履修者数を見ると、増加したのは日本語と韓国語のみでスペイン語や中国語、イタリア語などは大幅に減少しました。

語学教育というと英語教育研究が中心となっています。初期の頃は、文法訳読法が主でその後オーディオリンガルという教授法で、繰り返しドリル練習をするというものでした。英語教育の様々な理論が提唱され、サイレントウェイやコミュニカティブメソッドなどの教授法が生まれました。しかし、最近の外国語教育では、英語教育理論に偏りがあることを指摘し、文化や社会背景を考慮に入れ、必ずしも外国語100%の環境で学習することが最適とは言えないという説も上がってきています。

外国語教育には文化背景が大切だといわれていますが、語学教師というのは往々にして言葉を教えることに集中しがちです。しかしながら、文化的要素というのは初級の会話などからも指導・指摘できる

ことです。Yookoso!という教科書からの会話をご紹介します。

ブラウン よこい先生、おはようございます。  
 よこい ああ、ブラウンさん、おはよう  
 ブラウン いいお天気ですね。  
 よこい ええ、そうですね。

この簡単な会話からも様々なことを指摘できます。まず、「いいお天気ですね。」は、英語の How are you? と同じ感覚で使われますが、日本人は天気のことを言う点です。更には、「おはようございます。」と「おはよう」の違い、それに伴うボディランゲージなどのように日本人が日本語で普通に会話しているときには気づかないことでも、あらゆる面に文化的な要素が含まれています。

米国において日本語学習者の数がそれほど減少しない一つの大きな理由は日本のポップカルチャー、所謂ビデオゲームやアニメ、漫画、コスプレなどに興味がある学生が多いからです。字幕なしでアニメを見たいとかマンガを読みたいなどという理由で日本語のクラスを取る学生がほとんどです。皆さんは、どのくらいご存知でしょうか。参加している方たちにはパワーポイントで最近の映画やゲームの画像をお見せしました。実は、図らずもそこで紹介した人気漫画「鬼滅の刃(きめつのやいば)」吾峠呼世春著が次の日に大きくテレビで取り上げられていました。

また、きっかけはポップカルチャーであっても日本語学習を続けるうちに日本の様々な文化や歴史に触れ、益々興味を持つケースも少なくありません。

しかし、日本語は英語母語話者にとって、もっとも学習難度が高い外国語として仕分けされています(the Foreign Service Institute)。特に待遇表現、いわゆる敬語には皆苦労します。例えば、急に「先生は、おしりになりますか。」などと言われます。これは、尊敬の言い方のルール「お+連用形(動詞)+になる」に則った正しい文です。「知る」の連用形は「しり・ます」です。こんな時は、グッと笑いをこらえて、実は例外で「ご存知ですか。」と言いましょと指導します。そして、ついでに「おしり」の意味を教えますと、そちらの方をよく覚えて、「ご存知」はなかなか出てこないというジレンマも生じます。待遇表現は、日本人にとってもなかなか厄介のようです。おせっかいな日本語教師として直してあげた方がいいのか迷うところです。

敬語と同様に厄介なのがカタカナ語です。英語のようで英語ではない、発音が異なる、意味が違うなど様々な問題があります。例えば、コロナウィルスは、英語では corona virus (コロナウイルス)で、ウイルスと言っているものをウィルスと言われても、なかなか認識できません。違う意味で使われている危険なカタカナ語として「スキンヘッド」が挙げられると思います。英語では通常白人至上主義の過激なグループに所属している頭を剃っている若者のことを意味します。日本では単に坊主刈りの人に使われているようなので、注意が必要です。また、ペーパードライバー、ワイシャツなどの和製英語も混乱の元です。

このように学習難度の高い言語をあきらめずに続けるためには常に学習意欲を高めておく努力が必要です。しかし、語学教師は自分が学習してきたやり方で言語を教える傾向があります。様々な学習者がいること、人それぞれ効果的な学習方法が異なることを意識し、画一的な教え方ではなく、バラエティーがある工夫を凝らした教え方が望まれます。その中でも割合に効果的なのが、演劇的要素を取り入れた指導法です。演劇というと大げさですが、単語のレベルの活動から簡単な寸劇なども入ります。私は二時間の実際の公演を試みました。シェイクスピアの「真夏の夜の夢」を日本語で学生達に演じさせ

ました。もちろん、脚本は簡略化した日本語に書き直しました。学生達のやる気に相乗効果が起こり、始めはダれていた学生も最後はセリフを完璧に覚えてきました。このように学習意欲を高め、やればできる、がんばればできるという達成感を味わうことが大切です。

まだまだたくさんお伝えしたいことはありますが、結びに元米国国連大使、最高国防会議員のスーザン・ライスさんの今の若者たちに送る言葉をお伝えしたいと思います。「国の将来を作るのは、みなさんです。」「外に出て、言葉を習い、文化体験をしてください。」「一番罪なことは、無関心でいることです。」「これは、若い人たちだけでなく老若男女忘れてはいけないことだと思えます。

最後にご参加下さった皆様、大学女性協会の生涯学習委員会の皆様に感謝申し上げます。さて、この経験を生かして今後いかに日本でお役に立てるか模索していきたいと思えます。ありがとうございました！



#### ◆「驚き、楽しさ満載の日本語教育」を聴いて

一年越しの交渉の結果、中野眞佐子さんにお話をさせていただくことができました。四ツ谷の事務所の会議室には、17名が集まり、Skypeで長崎支部の4名が参加しました。

日本では、日本語教育がどんどん盛んになってきています。

2019年4月1日から入管法が変更になり、新在留資格「特定技能」ができました。今まで、家族の帯同は許されなかったものが、特定技能2号では、条件があれば、可能になりました。それにより、近い将来、もっと日本語教室の必要性が増していくものと、推測されます。

日本での日本語教育の問題点の一つは、たとえば、2019年の大学女性協会セミナー「教育・ジェンダー・共生」で中間報告がなされました「外国にルーツのある住民と多文化共生の取組」の調査でも、明確になりましたが、中学生レベルまでの日本語教育が、生活言語と学習言語の違いを明確に把握している日本語教育にまでは、到達していないという現状があります。ちょうどそのような問題を大学女性協会に取り上げたタイミングで、中野さんにお話を伺うことができたのは、大変幸いなことでした。

コロラド州立大学で、日本語教育のプログラムを一から立ち上げ、30年余、日本語教師をなさったご経験からの日本語の扱い方から、こちらでも日本語に対するいろいろな興味が湧いてきました。

よく言われている日本語の難しさはいうに及ばず、ちょっとした会話にも、日本の文化が現れている、というご指摘は、今まで、あまり取り上げられなかった視点でしたから、参加者の中にも、ちょっとした驚きを感じた人が多くおりました。また、今の外国の若者たちが、何をきっかけに日本に興味を感じ、共感を感じているか、という視点では、アニメ、ゲーム、コスプレなどのポップカルチャーが主流を占める、ということで、日本の文化といえば、歌舞伎・茶の湯・浮世絵などが思い浮かんでくるような私たち世代には、別次元に思え、日本文化も進化していることをしみじみと感じました。

アメリカという地で見える日本文化は、日本で教える日本語教育に、どれだけ反映し扱われているのでしょうか。「語学の教師は、会話だけを教えていて、会話のときにあらわれる文化という背景を教えるのを忘れている」というご指摘は、演劇を使った教授法で、学生たちに見事に文化を伴った日本語の会話能力を身につけさせた実績と相まって、大変迫力のあるものでした。

と同時に、日本では、これから、外国人の労働力頼りになることが、明らかなので、日本語が母国語ではない人々向けの日本語教授法に関する資格（日本語教育能力検定）の内容の充実だけでなく、フランス語の C. R. E. D. I. F 方式の教材のような、質の高いいろいろな視点を含んだ教材の開発に、政府をあげて取り組んでいただきたいものです。

最後には、日本語教育から、日本での英語教育に話が及び、会場では、一層の議論の展開があったことも付け加えさせていただきます。

中身の濃いお話を、ありがとうございました。心から、御礼申し上げます。

(嶋田 君枝 記)

---

### 【アンケートから】

- ・ 寸劇を行って日本語教育をするというのは、効果的な方法だと思う。私自身も私的に子供達に英語を教えていた時にはドラマでおぼえさせていた。(F.F)
- ・ 現場からの経験を豊富に教えて頂き、アメリカにおける日本語教育の現状がよくわかりました。プレゼンのしかたもお上手で、楽しくお話を伺うことができました。(N.K.)
- ・ 外国人に対する日本語教育と日本人に対する英語教育のむずかしさと面白さが良くわかった。生徒の identity を生かす、教えることはやはり心理学ですね!!!次は…?(S.T.)
- ・ 楽しい日本語教育クラスでした。又、外国人と話す時に注意すべきことにも気がつきました。(一文字違うだけで意味が全く異なるので注意しなければ、と思いました。例. 地図とチーズ、起こすとおかす、おろすところす等)(E.M.)
- ・ 日本語教育の難しさがよくわかって、特に「は」と「が」の難しさを経験したことがあったので、とても興味深かったです。演劇的要素を入れた指導はとても効果的と言うことが分かって新鮮でした。文化(特に現代文化)の重要性を強調されていることがとても重要に思いました。語学のみが優先されている感じがしているので。(Y.W.)
- ・ 実体験をユーモアを持って、お話しいただき楽しかったです。(Y.K.)
- ・ 会話には身振り手振りがつきもの、とか、どちらが社会的優位性を持っているかで言い回しが違う、とか、改めて、日本語の会話の“ややこしさ”を認識しました。『日本語を教える』と『日本語会話を教える』の違いや、会話の中に文化が見えることなど、たくさんの“気づき”をありがとうございました。(K.S.)

JAUW 生涯学習委員会 2019年度

# Jカフェ

～～ JAUW ヒューマンリソース活用プログラム ～～

**JAUWが誇る最大のタカラは、会員のもてるチカラです。**  
 ここには、豊かな経験、広い知見、深い洞察があります。  
 ご一緒に、新しい世界を発見、創出、共有しませんか。

---

## 第7回 驚き、楽しさ満載の日本語教育 ～米コロラド州での教師経験を経て～

日本の言語教育は、大学入試共通テストへの英語民間試験の導入が紛糾のすえ見送られ、国際学習到達度調査における日本語の読解力の順位低下が問題視されるなど、混迷が続いているのは何故か？ 島国のため、外国の文化、言語に接する経験が限られていたため、外国語と母語を含めた言語に対して考える機会に恵まれなかったことも一因と考えるでしょう。では、アメリカにおける日本語教育のあり様はどうなのでしょう？コロラド州立大学で日本語プログラムを立ち上げ、30年の職務を全うし帰国された講師に様々な話題を提供していただき、言語教育の知見を広め深めたいと思います。

**日 時**：2020年2月19日（水）13:30～15:30 受付 13:15～  
**場 所**：本部事務所 + Skype 中継  
**講 師**：中野眞佐子氏（東京支部会員）  
**募集人数**：会議室先着 30名+Skype 利用 15アカウントまで  
**参加費**：1,000円（茶菓含む）／Skype参加はアカウント1つにつき1,000円  
**申 込**：Fax：03-3358-2889（本部事務所）／E-mail：j-cafe@jauw.org（Jカフェ専用）  
 Skype参加希望は、上記メールアドレスへ  
**締 切**：2月14日（金）ごろまで

**【中野眞佐子さんから：お話のポイント】**

1988年より米コロラド州立大学で30年間日本語教師として教鞭を執り、2019年夏に退職しました。同大学で初めて設立された日本語コースをゼロから立ち上げ試行錯誤の繰り返しの中で学んだ日本語を教える楽しさ、難しさ、有意義さなどについて、

- ① 文法訳読法からフォーカスオンフォームまで
- ② 言語と文化
- ③ 待遇表現（いわゆる敬語）は必要か
- ④ カタカナ語・漢字の難しさ
- ⑤ 学習意欲の向上

という点から話を進め、皆様とこれからの語学教育について考えていきたいと思っております。

**【プロフィール】**  
 実践女子大学英文学科卒、米コロラド州立大学大学院修士課程修了、  
 元コロラド州立大学教養学部言語・文学・文化科日本語専任教師

★ 生涯学習委員会では、JAUWの人材を活かす活動を企画中。他業・自業大歓迎！  
 ・「災害の記憶をつなぐ」シリーズ（予告）：ジェンダーの視点から、災害に関する経験や提言を収集  
 ・Jカフェ：「あの人にあの話を聞きたい」（経験談、趣味の紹介、専門知識など）  
 ★ 生涯学習委員会Jカフェ専用メールアドレス：j-cafe@jauw.org



一般社団法人 大学女性協会 〒160-0017 東京都新宿区左門町 11-6-101  
 T E L : 03-3358-2882（月～金の10:00～16:00）／F A X : 03-3358-2889  
 E-mail : jauw@jauw.org / URL : http://www.jauw.org/